

機械や化学 医学等は日進月歩、我々人間様の生活に多大なる利便性 恩典を与えられました。医療や福祉の充実など生活が便利になれば成る程有難い事ですが、しかしながらその付けは大きな借金となってこれからの時代を背負う若人に負担と成ってしまいます。お正月からこんな話はずっ平とお思いでしょうかが多少の困難・不便を甘んじて受け、負の無い生活。社会を目指して行くべきだと思ひ冒頭に持つて来た訳です。各家庭で対応できることを心掛けましょう。とにかく無駄を省き国の借金を減らしましょう。日本の国が瀕するのをみたくありません。時は重し。人間は会社であれ自営であれ娯楽であれ、自分に与えられた時間を使って行動します。一つ一つの行動がストップウオッチで計測されているようなものです。スマホも程々に。上手に時間を使える人が諸行無常の世を生き生きと行ける人です。時を軽んじると、後でそのしっぺ返し^{がえ}が来ます。時は戻ることなく、止まる事なく、失いやすいのです。時は全てを飲み込み、自らの行動の良し悪しを結果として知らせてくれます。後々後悔しませんように。

他国の状況をただ傍観^{ぼうかん}してはだめです。何時か同じ災^{わざ}が我が身に降りかかるかも知れない事を忘れてはいけないと思います。他人の言葉にいたずらに惑わされる事無く**真実を見極める眼力**や**聴力を**養いましょう。眼力とは悪を悪なりと見、善を善なりと見る事が出来る目です。又、善悪を聞き分ける力も大切です。

当山の諸仏、諸菩薩に新年のご挨拶をしながら初詣の方々をお迎えいたしました。人夫々に思ひはあるものの招福祈願^{しよふくきがん}を致しました。欲深くならず、**善心は深く・悪心は浅く**、共に生きて行ける社会に成るように皆で頑張りましょう。一人助けたが為に一人が苦しむようでは何の価値もありません。諸事万端事を成すには準備が必要です。お参りするにもローソクに線香、お供え物が必要です。**身の丈^{たけ}にあった生活が無理を生ぜずに一番良いのです**。万物の生育には天地の恵が必要です。中でも太陽の恩典は計り知れません。日の出を拝み力を頂き、この一年どんな一期一会^{いちいちい}を頂けるのか楽しみです。目に見える縁、目には見えない縁。様々な縁が張り巡らされていますが、**皆様には少しでも良き御縁^{ごえん}を結んで頂きたいものです**。これが仏教でいう「因縁正起^{いんえんせいしよ}」です。

年の初めの呼称にも色々あります。一月の一は勿論順位を表す基本の一でしょう。正月は生まれる変わった積もりで年の初めから正しく行きたいと言う希望を込めたものとしましょう。睦月^{むつき}は諍^{しやう}いのない皆が仲良くこの一年を暮らしていけるようにとの願いを込めたものと考えます。ある九十歳を超えた体の不自由なお婆さんが「頂きます」と言うので、お嫁さんが「食事はまだですよと申しますと、なんとお婆さんは 食事では無く、幸せを頂くのです」と言ったというのです。この話を聞いて驚きました。仕合せは奪い取る物では無く、成る程に頂けるものかと思ひました。今年も良き年、幸せの頂ける年に成るように精進努力をしましょう。